

令和7年度病院一在宅連携に関する実態調査報告書

【対象】

2025(令和7年)10月1日～31日の期間に病院を退院し、ケアマネジャーが担当した症例。

【方法】

富山県内全ての地域包括支援センター、居宅介護支援事業所、小規模多機能型居宅介護(看護小規模多機能型居宅介護含む)、認知症対応型共同生活介護(グループホーム)計678事業所(新川:71カ所、富山:287カ所、高岡:221カ所、砺波:99カ所)に質問紙を郵送した。回答方法は郵送による質問紙の返信、及びインターネットによるフォームの入力と送信を選択する。

質問紙での回答とインターネット回答の割合は以下のとおりであり、インターネット回答数の前年度比は150.1%だった。

	回答数	質問紙	インターネット	不明
新川	197	99	98	
(%)			49.7	
富山	488	295	193	3
(%)			39.5	
高岡	419	214	205	1
(%)			48.9	
砺波	215	72	143	
(%)			66.5	
全体	1,319	680	639	
(%)	100.0	51.6	48.4	

【結果】

445事業所(新川:58カ所、富山:171カ所、高岡:127カ所、砺波:89カ所)から1,319件(新川:197件、富山:488件、高岡:419件、砺波:215件)の回答を得た。そのうち期間内に病院から退院した症例があると答えたのは907症例(新川:148例、富山:341例、高岡:285例、砺波:133例)だった。症例数前年度比は99.0%だった。

【回収率】 65.6% 回答事業所数／各圏域事業所数(%:少数点第2位四捨五入)

老人保健福祉圏域別		地域包括支援センター	居宅介護支援事業所	小規模(看護小規模)多機能型居宅介護	グループホーム	無回答
新川(%)	81.7	100	86.5	50.0	78.3	
	58/71	5/5	32/37	3/6	18/23	0
富山(%)	59.6	75.0	57.8	62.5	53.4	
	171/287	27/36	93/161	20/32	31/58	0
高岡(%)	57.5	94.4	65.4	40.5	42.4	
	127/221	17/18	70/107	15/37	25/59	0
砺波(%)	89.9	100.0	87.8	86.7	92.5	
	89/99	3/3	36/41	13/15	37/40	0
計(%)	65.6	83.9	66.8	56.7	61.7	
	445/678	52/62	231/346	51/90	111/180	0

1.病院-在宅連携調査に関する実態調査 10項目(①~⑩)

①性別

N=907

	男性	女性	無回答
新川	62	84	2
(%)	41.9	56.8	1.4
富山	128	207	6
(%)	37.5	60.7	1.8
高岡	133	146	6
(%)	46.7	51.2	2.1
砺波	56	75	2
(%)	42.1	56.4	1.5
計	379	512	16
(%)	41.8	56.4	1.8

年齢(症例の平均年齢) N=907

新川	83.1
富山	79.0
高岡	80.6
砺波	81.8
計	80.6

②退院時の介護度

N=907

	申請予定・申請中・変更中	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	無回答
新川	9	14	20	38	23	20	15	9	0
(%)	6.1	9.5	13.5	25.7	15.5	13.5	10.1	6.1	0.0
富山	66	23	31	64	64	51	31	10	1
(%)	19.4	6.7	9.1	18.8	18.8	15.0	9.1	2.9	0.3
高岡	33	27	27	63	45	29	42	19	0
(%)	11.6	9.5	9.5	22.1	15.8	10.2	14.7	6.7	0.0
砺波	21	8	3	25	27	19	20	10	0
(%)	15.8	6.0	2.3	18.8	20.3	14.3	15.0	7.5	0.0
計	129	72	81	190	159	119	108	48	1
(%)	14.2	7.9	8.9	20.9	17.5	13.1	11.9	5.3	0.1

③退院時の病棟

全 907 症例 急性期(一般):570 例(62.8%)、回復期リハビリ:166 例(18.3%)、地域包括ケア:114 例(12.6%)、療養:14 例(1.5%)、上記以外:38 例(4.2%)、無回答:5 例(0.6%)であった。

④診療科(退院時の担当科)

N=907

	内科	外科	整形外科	脳神経外科	リハビリ テーション科	上記以外	無回答
新川	68	10	24	17	13	16	0
富山	175	25	59	14	28	40	0
高岡	138	19	59	4	7	52	6
砺波	74	5	24	5	7	17	1
合計	455	59	166	40	55	125	7

⑤症例の概要

N=907

診断名(入院疾患)

	脳卒中	骨折	整形疾患	がん	心疾患	肺炎	消化器疾患	上記以外	無回答
新川	15	16	8	15	7	9	10	68	0
富山	24	41	24	42	29	36	30	114	1
高岡	5	40	18	35	24	31	34	96	2
砺波	9	17	7	11	9	13	6	61	0
合計	53	114	57	103	69	89	80	339	3

医学的管理

	無	有	無回答
新川	117	29	2
富山	260	78	3
高岡	216	68	1
砺波	101	32	0
計	694	207	6
(%)	76.5	22.8	0.7

医学的管理とは、退院時に以下に該当するものがある場合に「有」とする。

- ・点滴の管理
- ・中心静脈栄養
- ・透析
- ・ストーマの処置
- ・酸素療法
- ・レスピレーター
- ・気管切開の処置
- ・疼痛の看護
- ・経管栄養
- ・褥瘡の処置
- ・尿留置カテーテル
- ・自己導尿
- ・吸引

⑥入院前からの介護保険サービス利用 N=907

	無	有	無回答
新川	24	124	0
富山	85	256	0
高岡	52	232	1
砺波	26	107	0
計	187	719	1
(%)	20.6	79.3	0.1

⑦入院時の要介護度

N=907

	未申請	申請中 変更中	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	無回答
新川	12	6	15	18	36	21	19	13	7	1
富山	50	26	28	45	53	63	44	23	9	0
高岡	25	15	36	26	66	48	28	25	15	1
砺波	10	16	9	6	25	28	16	14	9	0
計	97	63	88	95	180	160	107	75	40	2
(%)	10.7	6.9	9.7	10.5	19.8	17.6	11.8	8.3	4.4	0.2

⑧入院時の情報提供(ケアマネジャーから医療機関)

N=907

	入院前から担当であり、実施した (%)	入院前から担当であったが、実施しなかった (%)	計	入院前は担当ではなかったため、実施しなかった
新川	99 78.6	27 21.4	126	22
富山	212 83.5	42 16.5	254	87
高岡	199 87.7	28 12.3	227	58
砺波	84 78.5	23 21.5	107	26
計	594 83.2	120 16.8	714	193

県全体の「入院時情報提供率」は 83.2%であった。(入院前は担当でなかったを除く)

入院前から担当であり、実施した

時期	平均日数	実施方法			
		文書	文書以外	両方	
新川	1.9	58	10	31	
富山	3.6	127	22	63	
高岡	3.1	110	19	70	
砺波	3.2	30	26	28	
計	3.1	325	77	192	
		(%)	54.7	13.0	32.3

N=594

入院当日を1日目とする。

入院前から担当であったが、情報提供しなかった

N=120

	入院したことを知らなかった	必要ないと判断した
新川	4	23
富山	17	25
高岡	5	23
砺波	6	17
計	32	88

必要ないと判断した理由

N=88

	検査や 短期入院のため	前回と変化が なかったため	その他
新川	10	5	8
富山	11	4	10
高岡	14	4	5
砺波	9	5	3
計	44	18	26

その他

- ・今回で3回目の入院のため
- ・定期的な入院のため
- ・手術後のリハビリのため
- ・業務の多忙のため
- ・レスパイト入院のため
- ・入院翌日に病院より連絡あり。転倒で動けず入院したが、骨折なく翌日には排泄等自立で即退院許可が出たため。3日後にはADL変わらず退院された。
- ・福祉用具のみの使用であったため
- ・情報提供に時間がかけられなかったため
- ・要支援認定のため
- ・病院から依頼がなかったことも理由です
- ・コロナ感染のため
- ・本人、家族がご自身の状況を伝えられる方であったため
- ・末期癌で短期間の間に入退院を繰り返していたため
- ・転院先だったため
- ・施設入所中であり、施設から情報提供されていたため
- ・担当ケアマネ家庭事情にて不在中。R7.9月～担当開始後も入退院を繰り返しており、病院側も状況を把握していたため、病院と相談し無しで良いとの了承を得られたため。
- ・退院後すぐだったため。担当して間もなかったため。
- ・退院が早まって間に合わなかった
- ・治療により回復の見込みが高いと予想されたため
- ・短期間に2回の入院が予定されており、1回目の入院の際に情報提供をしたため
- ・問い合わせがなかったため

・急性期病院から療養病床への転院だったため

⑨病院からの退院連絡

連絡の有無	N=907		
	無	有	退院調整率(%)
新川	19	129	87.2
富山	54	287	84.2
高岡	36	249	87.4
砺波	14	119	89.5
計	123	784	86.4

県全体の「退院調整率」は 86.4%だった。

時期	平均日数
	新川
富山	8.4
高岡	5.9
砺波	8.1
計	7.2

退院当日を 0 日前とする。

連絡者 N=784

	N=784		
	地域連携室	病棟	両方
新川	123	4	2
富山	273	10	4
高岡	190	45	14
砺波	110	7	2
計	696	66	22

方法 N=784

	N=784		
	口頭 (電話を含む)	文書 (FAXを含む)	両方
新川	97	11	21
富山	253	2	32
高岡	226	1	22
砺波	104	0	15
計	680	14	90

⑩患者情報収集

情報収集の有無 N=907

	N=907	
	無	有
新川	19	129
富山	48	293
高岡	39	246
砺波	23	110
計	129	778

収集方法

	病院訪問 (%)	退院前カンファレンス (%)	文書(退院時サマリー等) (%)	電話 (%)	その他 (%)
新川	31 24.0	20 15.5	71 55.0	88 68.2	13 10.1
富山	107 36.5	93 31.7	176 60.1	156 53.2	23 7.8
高岡	108 43.9	81 32.9	167 67.9	154 62.6	8 3.3
砺波	34 30.9	30 27.3	52 47.3	70 63.6	11 5.6
計	280 36.0	224 28.8	466 59.9	468 60.2	55 7.1

複数回答可。

全症例 778(新川:129 例 富山:293 例 高岡:246 例 砺波:110 例)

病院訪問率は 36.0%、退院前カンファレンス率は 28.8%となった。

その他

- ・LINE を使用した
- ・メールを使用した
- ・病状説明に同席した
- ・本人から電話あり
- ・家族から電話あり
- ・連携室との情報交換
- ・本人がしっかりしており Dr より確認できているため、ケアマネより本人へ確認した
- ・家屋調査、家屋評価、外出訓練
- ・主治医往診時
- ・家庭訪問(本人同席)をした
- ・介護保険認定調査に立ち会った
- ・外泊時相談員と自宅へ訪問した
- ・病院からの情報提供
- ・バイタルリンク
- ・包括より情報提供があった
- ・病棟訪問時に担当看護師から聞き取った
- ・リハビリを見学した

入院時情報提供率: 利用者の入院時にケアマネジャーが医療機関に対して、利用者の生活環境等の情報を提供した割合。

入院時情報提供日数: 利用者の入院時にケアマネジャーが医療機関に対して、利用者の生活環境等の情報を提供するまでの日数。(平成 30 年度から指標に追加)

退院調整率: 病院担当者が利用者の退院前にその担当ケアマネジャーに連絡した割合。

退院前連絡日数: 病院担当者よりケアマネジャーへ退院連絡のあった日から実際の退院までに要した日数。

病院訪問率: 退院前にケアマネジャーが病院を訪問した割合。

退院前カンファレンス開催率: 退院前にケアマネジャーが病院担当者とカンファレンスを開催した割合。

退院時サマリー提供率: ケアマネジャーが病院から退院時サマリー等の提供を受けた割合。

2.病院－在宅連携に関する課題および工夫したこと等

【課題】、【工夫したこと】は別に報告する。

【課題】514 件(新川:74 件 富山:181 件 高岡:169 件 砺波:90 件)

【工夫】533 件(新川:76 件 富山:185 件 高岡:184 件 砺波:88 件)

令和7年度病院在宅－在宅連携に関する実態調査報告

病院-在宅連携の状況(年度別推移)

調査結果概要

	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年
回収率	50.8	47.8	60.3	65.6	63.0	72.4	76.7	80.0	80.2	68.6	69.2	65.6
回収事業所/ 対象事業所	300/591	302/632	392/650	440/671	430/682	494/682	524/683	544/680	544/678	477/695	468/676	445/678
ケアマネ ジャー数 (名)	414	584	912	1,026	1,070	1,155	1,269	1,272	1,288	回答数 1,438	回答数 1,347	回答数 1,319
症例数 (例)	610	600	786	734	912	889	1,056	950	974	977	916	907

各指標のまとめ

	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年
入院時情報提供 率	62.2	75.1	74.2	76.3	80.3	80.6	78.3	84.4	81.4	84.3	81.1	83.2
入院時情報提供 日数(日)	—	—	—	—	2.7	2.7	2.5	2.4	2.6	2.8	2.8	3.1
退院調整率	76.7	73.2	80.7	83.4	84.2	85.7	87.1	89.5	87.1	90.0	86.5	86.4
退院前連絡日数 (日前)	9.8	8.3	7.1	8.6	7.9	6.6	6.8	7.2	6.1	6.8	6.4	7.2
病院訪問率	55.9	52.7	56.0	57.5	53.1	53.8	24.5	22.3	20.6	29.8	30.9	36.0
退院前カンファ レンス開催率	35.7	30.7	32.2	32.4	30.4	31.8	24.8	29.8	23.8	23.9	26.8	28.8
退院時サマリー 提供率	66.1	68.7	68.1	68.0	64.0	65.1	62.5	69.5	69.6	69.6	64.9	59.9

入院時情報提供率: 利用者の入院時にケアマネジャーが医療機関に対して、利用者の生活環境等の情報を提供した割合。

入院時情報提供日数: 利用者の入院時にケアマネジャーが医療機関に対して、利用者の生活環境等の情報を提供するまでの日数。(平成 30 年度から指標に追加)

退院調整率: 病院担当者が利用者の退院前にその担当ケアマネジャーに連絡した割合。

退院前連絡日数: 病院担当者よりケアマネジャーへ退院連絡のあった日から実際の退院までに要した日数。

病院訪問率: 退院前にケアマネジャーが病院を訪問した割合。

退院前カンファレンス開催率: 退院前にケアマネジャーが病院担当者とカンファレンスを開催した割合。

退院時サマリー提供率: ケアマネジャーが病院から退院時サマリー等の提供を受けた割合。

(R8.2 富山県リハビリテーション支援センター作成)